

安久社全従業員の解雇に付

貴下の眞情に翹る

私達安久社従業員十一名は五月三十一日限り打ち明けた全員解雇を事業主福井安久木氏から宣告された。今迄臨休／＼殆ど失業状態に於かれて居た。上の解雇を以て私達十一名は了の非人道的な行爲に對して反省を促して一応止むを得ない場合は此れ相當の準備を支出して貰いたいとごく穏便に懇願して未だしを延福井氏も私達の意見を諒として再三の會見の上やうと五日に解雇すると云ふことと約束した。加つて五日の解雇に私達の要求の最宜退職金三ヶ月分と年功金一年に對して十五日分加算の計算に對して僅か十四日分の目録金で進め拂はうとした。一生の内半生を費して来たが、全部が安久社に十数年も勤続して来たが、十数名の家族諸共に年恒久的な失業のどん底に陥落せしめられた。然るにこれから業界閑散期に向つて行つて居る生活を行つて行かなくてはならぬか？

早速その場を私達の窮状を訴へ再考を促した。冷血漢福井氏は何等考慮す、所なれど日頃政變毎に監視統監や席を復はすのま、神諭を理由に遊山見物に雷隠れして居た。

同じ工場に居るにも永く居て世間をよく知らぬが、私達を大猫を抛り出す暇に街頭に突出して歩いて旅行に出かけるや血漢福井氏のこの情若無人の振舞舞は今始つたことではない。ここ数年未だの時分は殆ど一日置きの臨休／＼賃下りとも平氣でやつて居るが、かゝる一度他社へ臨時録がた下も行つたら無手當りな早速誠意を乞ふ外、一度仕事が入れば公休を無視し深夜業を重む。女子生徒に送る札や強制し一度が身体をこわして病氣にがれが三の忙しみの病氣

なんか認めないしまつて私達の生死を無視するといふ冷酷な福井氏の下。今度の暴卒も決して尺楯による解雇ではなく、解雇を名目に私達を解雇した。後最も卑劣な経済法！月五六円の時分に制限なく付かせることの出た。従弟も多く入つて工場を拡張する事を廣言し、遂に私達を工場の為め社の為め捨石にたつて今迄の恩義に報ゆるべきやと他人に唆し、事を要求すると言ひ、因々に破産を謀る。

ここに至つては今迄前述べた要求を社を盡し償を重んじて置くや、懇願的に折衝して末に誠意も遂に踏みこみ、つらつらしてしまつたのです。忍従は自重をして来た私達ではありませぬが、教十名の家族が今まことに生死の境に押しつけられ、はもう黙つては居られませぬ。暴産極りない福井氏を助け反省させ、自六月六日私達十一名は奮然起ち立ちました。そして勤続十数年に亘る私達に對してたつた十四日分の履き、少しも草履が大猫を抛り出した様に簡単に街頭に突き出した。従弟を入れた私達は、この暴卒を快く討て、討てません。私達は最初の要求退職金三ヶ月分、年功金一年に付十五日分加算の正当な要求を他くまで斗へる決心がなりました。以上福井氏の今回の暴卒を述べ平素の御指導を仰ぐまことに私達は同一工場に永續勤めし爲め友人知己も少く世間も知らぬ、御才を尊重下さい。

どうも私達の窮状を察せられ、亦この正当な要求の貫徹のためには是非天福井氏に反省を求められ一日も早く本争議の解決せんことを衷心より祈願し、止まらぬ次第でございます。

六月九日

芝区新橋五丁目二十六番地(田中亦)  
安久社争議 田本部